



①昭和34年4月、市誕生を祝う人文字。尾花沢中学校グラウンドで行われた。②昭和34年5月3日、市制施行、市庁舎落成、国道13号改良路線開通の3つを祝う祝賀会が尾花沢高校で行われた。③昭和34年5月5日、徳良湖で行われた北村山クレー射撃大会。④昭和34年5月4日、長根山で行われた記念植樹祭。約80人が集まり10アールにカラマツ300本を植えた。⑤市庁舎落成当時は、積雪を考慮し2階が入り口になっていた。

### 尾花沢市の誕生

昭和28年の町村合併促進法及び昭和31年の新市町村建設促進法により全国的に市町村の合併が進んだ「昭和の大合併」。当時は、中学校の設置管理や消防業務、社会福祉、保健衛生関係事務が市町村の事務に加わり、行政事務の効率化を図るため市町村の合併が進みました。

そのようなか、昭和29年10月1日に、尾花沢町、福原村、宮沢村、玉野村、常盤村が合併し新しい尾花沢町が誕生しました。当時の人口は3万2千539人、世帯数は5千145戸でした。

そして合併から5年後、天皇皇后陛下の御成婚の日である昭和34年4月10日に、尾花沢町は市制を施行し、県下12番目の市として尾花沢市が誕生しました。人口は3万2千210人、世帯数5千468戸でした。「市」の要件は人口5万人以上となっていますが、当時は人口3万人以上でも市として認められるという特例があり、町全体で検討した結果、市制施行が決定されました。

### 多くの人が祝う

昭和34年、市制施行に加え国道13号の改良路線開通、市役所新庁舎（現在の庁舎）落成とお祝いの行事が重なり、市内では5月3日から7日までの5日間に行われた様々な行事が行われました。

昭和34年5月15日発行の市報第3号によると、5月3日に尾花沢高校で開催された祝賀会には、市内外の来賓約1千人が参加して盛大な会が行われました。他にも長根山での植樹祭や、徳良湖でのクレー射撃大会なども行われ、各行事は多くの人で賑わったと記録されています。

### 誕生から60年

今年は何元号に変わり、市制施行60周年と新庁舎落成の年になります。現在建設中の新庁舎は、5月1日に開庁予定です。また、年内には市制施行60周年を記念する様々な行事を開催する予定です。

行事の詳細は今後、市報やHPでお知らせします。



# 尾花沢市は平成31年に市制施行60周年を迎えます

昭和34年5月3日、市制施行を祝うパレード。市庁舎落成、国道13号の改良路線開通と併せて盛大に行われた。